

神戸市

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：地域移行・地域定着支援事業を医療機関・事業所に広く知ってもらうための方策づくり

【達成状況】

- ・地域移行・地域定着推進連携会議を研修要素も含めて多機関が参加して年2～3回実施。
- ・課題への方策を検討するため地域移行・地域定着推進検討会（選考した20か所の機関）を隔月1回開催。
- ・委託法人と運営会議を月2回開催。
- ・精神科病院職員対象の地域移行支援の説明会、アンケートを実施。（病院へ出向く）
- ・基幹センターと協働し、相談支援事業所などを対象に、地域移行推進の意見交換会を実施。
- ・障害者支援課管轄の地域生活機能強化専門員と共催研修を実施。
- ・地域の自立支援協議会で、神戸市の精神障害者地域移行・地域定着についての講義を実施。

目標：相談支援事業所と同行して個別支援を有効にできるピアサポーターの育成

【達成状況】 神戸市登録ピアサポーター33名（1月末現在）

- ・ピアサポーター養成研修：ガイダンス1回、本研修4回コース（相談支援事業所等関係機関へ参加勧奨）当事者27名、登録ピアサポーター15名、事業所等21か所が参加。
- ・研修後のカリキュラムに精神科病院での発表活動実習（見学）を導入、実践につなげる。14名対象。
- ・ピアサポーター活動報告会を開き、実際のピア活動の意見交換・交流の場とする。
- ・精神科病院での発表活動や座談会、地域移行・地域定着への個別支援を協力事業所が同行して実施。
- ・ピアサポーター活用事業の運営会議に、ピアサポーターの代表も参加し、ピア活動について意見する。

目標：地域移行・地域定着のための地域づくりをすすめる協議会を地域単位でつくる

【達成状況】

- ・自立支援協議会の関係部会、精神障害者支援ネットワークに参加し、ネットワーク構築の必要性を伝える。
- ・精神障害者支援のネットワークが未構築の区において、キーとなる支援者と協議。
- ・既存の精神障害者支援部会（せいしん部会）と連携を強めながら、ネットワーク構築に向けて検討中。
- ・検討会メンバーが、市の自立支援協議会全体会にて医療との連携をテーマに講演。
- ・基幹センター、障害者地域生活支援センターと、地域の実情に合わせたネットワーク構築の必要性を協議。

平成30年度の方針

1. 区単位で、精神障害者の生活支援ネットワークを構築できるよう取り組む。
2. 精神科病院に対して、精神障害者の地域移行推進に向けた協力を得る。
3. ピアサポーターの養成・育成を行い、地域移行・定着の個別支援でのピアサポーターの活用を推進する。
4. 検討会を活用し、多機関が一丸となり、精神障害者の地域包括ケアシステムの構築に取り組む。